

佯 狂

金雀児エニシダの

棘に鎮める海を
目に染める



牧村則村

いわれなく
花にも狂い 狂いながらなおも
歩いてゆく

臆病者のおまえの姿に身を爰し
おまえと見紛うほどおまえに恋焦がれ
エニシダのへ時

花ちぎり

花咲いっつ海への径を
喘ぎ 喘ぎつつ敢えて犯される悦びの不誠実さで

あえかな時の遊び

そのマメ科の戯れ悪ふざけのいま時分
(狂い咲け! たわむ枝々)

追つてゆく 追われてゆく

私の

影の影

（幻）か

おまえを嚇かしつづけ

おまえを驚かしつづけたものの正体は

身体の奥底に

隠し 隠されつづけたものの真実は

海へゆく

黄の花蔭に棘をひそめて

狂おしく 焔を病んで

（魂を脅かすこのエニシダの

繚乱と狂乱の絶句の枝に

乱舞する幻は

一つのことしか（夢）見ない私への

多分 罰なのだ）

淋人（無題）



淋人（無題）